

親子二代の理工学部物理学科 ～これも世襲？～

平成3年 日本大学大学院理工学部物理博士課程を卒業（理学博士取得）しました戸町武弘です。現在、54歳になります。東京出張の際、母校である物理学科が懐かしくなり突然お伺いさせていただきました。卒業して随分時が流れたので、知っている先生達は殆ど退官していました。しかし何人か懐かしい先生の名前を見つけました。

訪ねていくと皆さん私のことを覚えていてくれました。名前が珍しいこともあります。実は現在、私の息子も同じ物理学科の2回生でお世話になっています。



私は、大学生の頃は決して優秀な学生ではありませんでした。特に英語が苦手で苦勞をしました。3回生の時、量子力学演習で恩師の藤田先生と知り合いそれから専門書を全て英語にしました。最初は、1頁読むのに2時間程かかりました。物理科の皆さん英語は頑張りましょう。

大学院時代は、物理漬けでした。友達と冗談を言うのも物理用語で、話す内容も物理。今考えると周りから変わった人と見られていたことでしょう。バブル時代ですから特に変わっていたと思います。

大学院を卒業後、日本大学で助手にさせて頂き、その後、地元の大学で助教授になり、現在は北九州市議会議員5期目で、議長に就任しています。

政治の世界で、世襲という言葉があります。私は、父から地盤を引き継いだ政治家です。一般的に

はあまり良い言葉で使われていないようです。しかし、私は世襲議員に誇りを持って仕事をしています。「与えられた環境で常に最高を目指して仕事をする」これが私の信条です。

大学時代、天気の良い日に実験室に籠って実験をした日、演習問題が解けなくて夜遅くまで居残りした日、文系の友達がまだ夏休みなのに自分だけ授業が始まった日、辛い日もあったけど、それらも含めて楽しい日々でした。「与えられた環境で常に最高を目指して仕事をする」もこの時に考えたことです。

前述したように、私の息子も同じ理工学部物理学科です。議員になってからも物理が好きで息子が小さい時から物理の話ばかりしていました。女房は呆れた顔をしていましたが、息子も小学生のころから数学だけは好きだったようです。

息子が日大の物理学科を受けると言ったときは、本当にビックリしました。私は父の世襲議員ですが、息子が同じ学舎で学ぶことになるとは。少し運命を感じました。

在学生の皆さん、日大理工学部は素晴らしい大学です。皆さんの今後の活躍に期待をし、息子と交代します。

父の背中を見て

現在、日本大学2年生の戸町武秀です。私が日本大学理工学部物理学科の存在を知ったのは父の話の中でした。父は私が幼いころからいろいろな物理の話をしてくれました。幼いころは父の話してい

ることが分からずに聞き流している程度でしたが、小学生や中学生、高校生と学年が上がっていくうちに父の話を理解できるようになり物理という分野に興味を持ち始めました。父の話の中で日本大学の物理学科に父が在学していたことを知りました。そのこともあり、大学受験の時に日本大学のことを初めに調べました。また、私自身が一度は東京に出たいと思っていたので日本大学物理学科を受験しました。現在、日本大学理工学部物理学科に所属している2年生となりました。1年生のころは船橋キャンパスで先生方から物理を習うに当たっての基礎を叩きこまれました。2年生になった現在では物理の基礎的なことを先生方から教えてもらっています。3年生になったら今習っている事よりも専門的なことを教えてもらいますので理解できるよう勉強していきたいと思います。